

自立と自律～よりよく生きるために～

副校長 足立 真弓

学習指導要領が10年ぶりに改訂され、平成32年度から順次実施となります。次期学習指導要領では、学ぶことと自分の人生や社会とのつながりを実感しながら、自分の能力を引き出し、学習したことを活用して生活や社会の中で出会い課題の解決に主体的に活かしていく力を身に付けることが重要視されています。しかし、本校の教育目標「働く 自立 自己実現」には、すでにその願いが込められています。それは、“じりつ”です。

一つは、文字にも表されているとおり『自立』です。もう一つは、自己実現という言葉で表されている『自律』です。

生徒たちは、自分の将来を幸せに生きる手立ての一つとして、就労に向けて日々学んでいます。就労、つまり「働く」ということは、自分の生活の基盤を築く、自立することに他ありません。自立には、経済的自立と技能的自立の2種類があると言われています。本校でいうなら、仕事を覚え、他に頼ることなく自分のすべき仕事を行い(＝技能的自立)、仕事をすることで得た収入で生活を営む(＝経済的自立)ということになります。

そして自律は、どう働くかどう生きるか、自分で目標を決め、自らの価値観や信条に基づいて行動するということです。教科学習では、学ぶことの面白さや生涯にわたり学び続けることの楽しさを知り、豊かな人生を創ることに活かしていけるような授業に取り組んでいます。職業教育を通して「自立」の力を、教科教育を通して「自律」の力を育んでいます。

自立はゴールではなく、自分の生活を創り始めるスタートです。自立したあとの長い人生の中では、必ずしも楽しいことばかりとは限りません。仕事をする中で辛いこともあります。同僚や上司などの人間関係において悩むことも出てきます。その時こそ、自律の力が必要になってきます。今まで身に付けてきた知識や力を生かしてどう解決していけばよいのか、どう向き合うことがベストなのか考え、判断して実行していく力が大事になってくるのです。自分の将来を幸せに生きるために、単に自立することで満足するのではなく、自立とともに、よりよく生きる、より豊かに生きる自律の力を身に付けてほしいと願っています。

ようやく気温も落ち着き、過ごしやすい季節になってきました。台風等の到来で雨の多い9月でしたが、晴れた日にはいわし雲を見止めることができ、確実に秋の訪れを感じます。秋は、その気候から何をするにもよい季節です。勉学、スポーツ、読書、音楽、旅行、食など、自分に合った形で楽しむことは、自分の生活を深みのあるものにしてくれます。これも一つの自立的活動です。



心も体も開放し、自分の楽しみを見つけ、心ゆくまで向き合ってみる時間をつくってみるとよいですね。



二つ橋スクールライフ



〇1年生

職場見学会の2回目が終了しました。今回のポイントは、仕事の内容以上に、「仕事に向かう姿勢」でした。スタッフの話の中には常に学校でも生徒たちに指導している内容がありました。「相手に伝わるあいさつ」「正確で適切な報告」「間に合えばいいというものではない時間厳守」「仕事は選べない」「単調な作業がずっと続く」これらは私たち社会人の世界ではごく普通にあることで、ここであちいち躓いていると仕事にならないどころか、全体の仕事量にも影響を与えます。仕事のベースとなる部分は一般就労であっても、福祉系就労であっても同じだということです。その上での「作業能力」なのです。

1 学年の課題でもあるこれらの基本を、卒業まで身体に浸透させていくことで就労を目指します。

〇2年生

2 学年後期が始まりました。3 年間の折り返し地点を通過です。

まもなく始まる後期現場実習は、これまでの実習よりも期間が長くなります。目標も「幅広く仕事を体験する」から「自分の適性を考えていく」と、就労に向けてより具体的な意味合いをもつようになります。校内で実習担当の先生と準備や打合せをしている生徒の姿にも緊張感が感じられます。土日をはさんで2週間。実習中の休日の過ごし方も大切な学習内容となります。しっかりと休養をとり、万全のコンディションで実習に向かえるよう、家庭でのサポートをよろしくお願いします。

この期間、学校に登校する生徒数が少ない日は4クラスや5クラスの特別クラスでの授業を予定しています。毎週クラスのメンバーが替わり、ちょっぴり新鮮な雰囲気味わえる期間でもあります。

〇3年生

夏休み明けは、学年レクで好み焼きを作りました。みなさんが協力して、いろいろな種類のお好み焼きを作っていました。そのあとは、後期の実習先紹介面接や求職登録など、進路の行事が続きました。後期の現場実習は、「試験実習」ということもあり、自分で実習日誌やしおりの準備を進めています。「卒業した後の生活」では、学校の先生はいません。自分から声をかけない限り、誰かが気にかけて助けてくれることはない、と考えたほうがよいと思っています。また、身の回りで起きたことは、自分から働きかけて解決することが必要です。それは現場実習に限らず、学校生活でも同じことだと考えています。

平成29年4月に社会人として生活をスタートするための準備を、この後期実習から具体的に始めているところです。

〇保健室から

8月30日に歯科巡回指導がありました。染め出しを行い、正しいみがき方を歯科衛生士さんに教えてもらいました。染め出しをするとみがき残しがたくさんあることに驚く生徒がいたり、正しいみがきに苦戦している生徒がいたり、普段のはみがきを見直せる機会になったと思います。ぜひ、はみがきを含めた体の清潔ができているか見てみてください。



夏から秋に気候が変わり、体調不良を訴える生徒も増えてきます。後期の実習に向けても朝の健康観察で調子が悪そうであれば無理をしないよう、ご家庭でもお声かけくださいますようお願いいたします。

〇「横浜市立二つ橋高等特別支援学校 Web サイト」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/ss/futatsubashikoto/>

